

第16回

表現主体の外国語教育研究会



LABORATOIRE D'AUTOMNE DU GROUPE DE RECHERCHE POUR
L'ENSEIGNEMENT DE LA COMMUNICATION AU JAPON

協力：KANSAI JALT CHAPTERS (KYOTO, OSAKA, NARA, KOBE)

同志社大学

烏丸キャンパス、志高館 SK 地下11

京都府京都市上京区烏丸通上立売上の相国寺門前町647-20

英語教育：2018年11月10日（土）

フランス語教育：2018年11月11日（日）



FLE

9:30 - 10:00 受付

10:00 - 10:10 開会の挨拶

10:15 - 12:30 基調講演

午前の部では、以下の3つの指針からなる授業デザインの方法を紹介します。

- コミュニケーションの授業では学生の日常生活についてのトピックを中心に扱う
- テストを定期的実施する
- 日本文化特有の会話の作法を考慮に入れる

10:15 - 11:30 学生のモチベーションを上げるためのテスト実施方法（フランス語発表）

Bruno Vannieu（神戸大学）

11:45 - 12:30 モデル化：文法を教えるためのもう1つの切り口（フランス語発表）

Jean-Luc Azra（西南学院大学）

14:00 - 17:10 プレゼンテーションとディスカッション

午後の部では、授業中における実践の観点からいくつかのテーマを取り上げて議論していきます。

発表される手法についての理解を深め、かつ応用の幅を広げていけるよう、各発表は以下のようにディスカッションも取り入れて行います。

- プレゼンテーション（5分間）
- ディスカッション（10分間）
- 発表者によるまとめ（5分間）

1) 14:00 - 14:20 学生による会話文の作成：非ネイティブの日本人教員にできること（日本語発表）

松浦奈美子（平安女学院大学）

2) 14:30 - 14:50 フランス語を使ってお互いを知るアンケート（日本語発表）

吹田映子（日本大学）

3) 15:00 - 15:20 よりオープンで豊かなコミュニケーションに導くための成果物の活かし方（フランス語発表）

Cédric Belec（神戸大学）

4) 15:50 - 16:10 会話の成果を評価するための諸手法（フランス語発表）

Jonathan Goujon（同志社大学）

5) 16:20 - 16:40 授業管理とテスト評価を効率的に行うためのデジタルソリューション（フランス語発表）

Nicolas Dassonville（愛知大学）

6) 16:50 - 17:10 翻訳への新たなアプローチ（フランス語発表）

Bruno Vannieu（神戸大学）

17:45 - 19:45 懇親会

参加登録はこちら ▶



参加費は無料です。

協賛：アルマ出版（ウェブサイト：www.almalang.com）